

「どしゃくずれ」

福岡県 小郡市立東野小学校 2年 足立 楓真

8月8日、じしんがあった日、ぼくは、おじいちゃんおばあちゃんといっしょに車にのって、けいたいのでけいほうを聞いて車をすぐとめました。車の中もすごくゆれて、すこしこわかったです。そのとき、おじいちゃんからじしんがおきたときどうすればいいかをおしえてもらいました。

お家にかえってテレビでニュースを見ていたら、どしゃくずれがおきたと言っていました。山がけずれて、木や岩やたくさんのすながどうろにながれていきました。それを見て思ったことは、近くにいたらいのちがあぶないと思いました。でも、なんでどしゃくずれがおきるのかなと思いました。

おとうさんおかあさんになんでどしゃくずれがおきるのかきいたら、じぶんでしらべなさいと言われました。

タブレットをつかってしらべたら、大雨がふってじめんに雨がたまると、どしゃくずれがおきやすいことがわかりました。ほかにも山の木をきって、お家やえんぴつやノートやトイレトーパーにつかわれていることをしりました。もったいないつかいかたをすると、山の木がはやくなくなると思いました。ぼくはいつもおかあさんに「ムダづかいをしない」と言われることがあります。そのいみが、しらべることわかりました。なのでえんぴつやノートはたいせつにつかうこと、トイレでもたくさんトイレトーパーをつかわないようにしていきたいと思いました。

森や林、木がぼくにはどうでもいいじゃなくて、そだてることで大きくなりどしゃくずれもなくなっていくと思います。

ぼくがすぐにできることは、ものをたいせつにすることからやりたいです。